



平素より本プログラムをご支援頂き誠に有難うございます。
新年度に入って最初のニューズレターをお送りいたします。今回は清華大学特集です。

清華大学15期生が東工大を無事修了、東工大学位記を受け取りました！

合同プログラムの清華大学15期生8名は、2021年3月に東京工業大学大学院修士課程を無事修了しました。

写真は青空の下、清華大学創立110周年記念の美しいモニュメント前で東工大学位記を手に晴れやかな笑顔で記念撮影を行った合同プログラム清華大学15期生です(1名欠席)。彼らの明るい笑顔には感慨深いものがあります。

清華大15期生8名は2019年9月に来日し、1年間の日本滞在を経て2020年8月に中国へ帰国予定でした。しかし2020年は年明けよりコロナウィルス感染症の世界的流行が始まり、日本国内では1月に国内初の感染者を確認して以降、4月には緊急事態宣言が発出され、大学では授業がすべてオンライン化されるなど、学生たちの研究環境にも大きな影響が出ました。水際対策として日本発着の航空便数が大きく制限され、中国へは北京直行便がなくなりました。そのため帰国を目前にした清華大生達にも緊張が走りました。



左より合同プログラム新運営委員長・張翀准教授、清華大15期生7名、王亜民さん



日中間の航空便は、上海などの地方大都市の中でも5か所のみ
に1日1便しか飛ばず、学生達は限られた上海便の予約を試み
ますが座席数が限られていた上に航空券代は高騰し、かなり苦
労したようです。

それでも学生間での情報共有・相互扶助により何とか全員が無
事に中国に帰国し、到着地での2週間の隔離を経て、北京また
は故郷に戻る事ができました。

コロナ禍での苦労を乗り越え、清華大学のキャンパスから晴れ
やかな笑顔の写真を送ってくれた事に、日本の合同プログラム
担当教職員一同、万感の思いです。

東工大学位記を手渡され、感慨深げに見入る清華大15期生達

清華大学創立110周年記念式典が開催されました

清華大学は、今年、創立110周年を迎えました。2021年4月25日には清華大学構内で記念式典が盛大に開催され、邱勇学長始め、中国政府要人や教育関係者、卒業生など清華大学に関係する多くの方々に参加されたとの事です。本学からも益一哉学長がビデオでお祝いメッセージを贈ったほか、本プログラムの東工大中国オフィスの王亜民が招待を受け式典に参加しました。

式典では、清華大学の卒業生でもある習近平国家主席がこの日に先立って4月19日に清華大学のキャンパスを訪れた際のビデオ映像が放映され、祝辞と共に教職員や学生達への激励メッセージが語られていた模様です。

また、この式典に関連して4月23日には世界各国の大学の学長が一同に会した記念フォーラムがオンラインで開催され、本学の益一哉学長も参加し、海外の大学の学長としては最初にKeynote Speechを行いました。

◇清華大学110周年記念式典の記事はこちらよりご覧いただけます(清華大学HP・英語サイトより)：

<https://www.tsinghua.edu.cn/en/info/1419/10244.htm>

◇記念フォーラム(4/23開催) - "Global University Leadership" 概要はこちら：

<https://mp.weixin.qq.com/s/-RYNqYowPMAhnSAf5ePdkg>



合同プログラムの清華大学運営委員長に 張 翀 副教授 が就任されました

合同プログラム創設以来、清華大学の合同プログラム運営委員長、並びにバイオコース長を務めて頂いた邢新会 教授が2021年3月末をもってご退任され、後任として張 翀(ZHANG Chong) 副教授が就任されました。

邢新会先生のこれまでの長きに渡る合同プログラムへのご貢献とご指導を賜りました事に、関係教職員一同、感謝の念に堪えません。

新しく就任されました張 翀先生は、邢新会先生と同じく清華大学化学工程系に所属の副教授です。今回の就任に合わせてメッセージを頂いています。



合同プログラム清華大学運営委員長、
及びバイオコース長に就任された
張 翀(ZHANG Chong)先生

詳しくは合同プログラムHP内に掲載のこちらの記事をご覧ください：

- ・ 清華大学運営委員長メッセージ：
<http://www.ipo.titech.ac.jp/tsinghua/about/greet.html>
- ・ 清華大学バイオコース長メッセージ：
<http://www.ipo.titech.ac.jp/tsinghua/course/bio.html>

本プログラムが清華大学で2021年創新型人材国際共同育成プログラムに採択されました！

2021年1月、清華大学において本プログラムが2021年創新型人材国際共同育成プログラム（略称「創新プログラム」）に採択されました。

応募のきっかけは、当時合同プログラム運営委員長であった邢 新会先生のもとに、国家留学基金管理委员会（Chinese Scholarships Council - 略称“CSC”）からこの「創新プログラム」の募集案内が届いたため、清華大学からの推薦を受け応募されたとのことです。

その結果、2021年1月に“採択”との連絡が邢 新会先生のもとに届きました。清華大学では今年度「創新プログラム」として4つのプログラムが選ばれた中、“我が校で最も長く続けられている清華大学国際教育を代表するプログラムである”として、「東京工業大学-清華大学大学院合同プログラム」がその一つに選ばれました。

「創新プログラム」としてCSCから拠出される補助金の内容は、支給期間は2021年から3年間、中国から日本に派遣する学生に対する留学期間中の奨学金および留学にかかる旅費に対して支給されます。

現在は日中間双方で渡航できない状況が続いていますが、再開された際には清華大学の本プログラム生の力強い支援となります。

この補助金獲得にご尽力いただいた邢 新会先生を始めとする清華大学教職員の皆さまに感謝の意を表すると共に、一日も早いコロナの終息と、渡航の再開が望まれるところです。